

FMU 男女共同参画通信

第 11 号 December 2016
福島県立医科大学男女共同参画支援室

2016 年も残すところ僅かとなりました。本支援室では今年も、様々なセミナーを開催してまいりました。新たな試みとして、本学にご所属の女性を対象とした『FMU 女性限定カフェ』を開催しました。

来年も様々なセミナーを企画しておりますので、皆様是非ご参加ください。来年も、変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



「研究支援員の配置に係る要望調査」のご案内

ライフイベント（出産・育児・介護・看護等）を抱えた教員の研究支援を行っております。

つきましては、平成 29 年度上半期配置分の調査を **2 月前後**に行います。

支援期間：H29 年 4 月 1 日～H29 年 9 月 30 日まで

1. 対象者：本学の主に医学部・看護学部・会津医療センターに所属する助手以上（大学院生も含む）の研究者（性別は問いません）のうち、①～④にあてはまる教員。

①妊娠中

②家庭において、小学校 6 年生までの児童の主たる養育者である

③同居・別居に問わず要介護認定を受けている親族の主たる介護者である

④その他、上記に準ずる（家族の看病をしている等）状況

2. H29 年度は「研究支援員制度実施要項」を改正いたしました。

支援を希望される方は、詳細をご確認ください。

平成 28 年福島県立医科大学男女共同参画講演会を開催しました

10 月 21 日（金）本学の講堂において、『平成 28 年度全員参加型 FD 講習会福島県立医科大学男女共同参画講演会』を開催いたしました。講師に、本学副学長/内閣官房参与/慶應義塾大学名誉教授/一般社団法人吉村やすのり生命の環境研究所代表理事 吉村泰典氏と公益財団法人笹川記念保健協力財団理事長 喜多悦子氏を招聘し、ご講演をいただきました。

吉村先生には「輝く女性が日本の危機を救う」と題して、喜多先生には「Gender という呪縛—Gap と Difference」と題してお話いただきました。今後の活動の参考となる、大変有意義な講演会となりました。参加者からは「性差に関する世界各国と日本の違いを知ることができた」「男女の差は埋める必要はあるが、良い意味での女性らしさ、男性らしさを持って共生するという結論には大いに同感です」「女性であることをわすれない、女性ならではの視点を生かして仕事をするといい、若い人たちの見本、ロールモデルになれるよう身を引き締めていきたいと思いました」等の感想が寄せられました。



FMU キャリアアップセミナーを開催しました

本支援室では、キャリア形成に関するセミナーとして『FMU キャリアアップセミナー』を開催しております。10 月 4 日（火）には第 5 回目としまして、本学総合科学教育研究センター兼看護学部総合科学部門教授 後藤あや先生を講師に「ワークライフバランスの『バランス』とは？」をテーマにご講演をいただきました。

後藤先生には、キャリアを重ねるに当たって大切なことは何なのかについてこれまでのご自身の経験談などを踏まえつつお話いただきました。

また、11 月 15 日（火）には第 6 回目としまして、本学附属病院長 齋藤清先生を講師に「誰のために仕事していますか？」をテーマにご講演いただきました。

齋藤先生には、豊富な経験談などを踏まえつつ、仕事と生活を両立させるため、どのように考え、様々な選択をされてこられたのか、これまで先生が歩んできた道についてお話いただきました。

お二人からとても貴重な経験談などをお話いただき、とても有意義なセミナーになりました。



会津医療センターで FMU カフェを開催しました

12 月 7 日（水）に会津医療センターにおいて、「FMU カフェ in 会津医療センター」を開催しました。

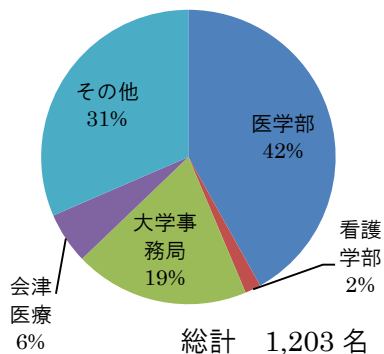
今回は、会津医療センター消化器内科学講座教授 入澤篤志先生に講座内での男女共同参画についてお話いただきました。参加者からは、「当たり前の事を当たり前という事がなかなかできない状況にあるということをも再認識しました。」「女だから…男だから…という考えをやめて、お互いを尊重できる環境になればいいと思います。」「入澤先生の講演は、とても理想的で良かったです。」などの声が寄せられ、大変有意義なカフェとなりました。



平成28年度『男女共同参画に関するアンケート』集計結果について

8月上旬に実施しました「H28年度男女共同参画に関するアンケート調査」では、多くの教職員の方々にご協力をいただき誠にありがとうございました。アンケート結果を抜粋して報告いたします。また、詳細は本支援室のHPに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

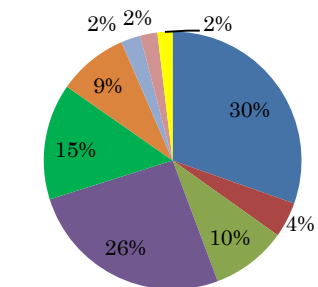
アンケート回答者



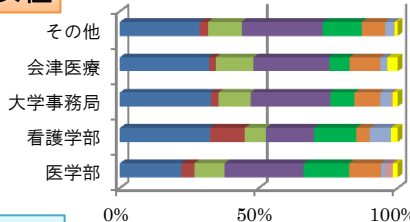
仕事と私生活を自分の理想のバランス（両立）にするために、必要だと思うことは何ですか。

- 仕事量の削減・効率化、適切な人員配置
- 在宅勤務制度の導入
- 育児・介護休業をとりやすくする
- 家庭と仕事との両立を支援しようという職場の雰囲気、上司の理解
- 勤務時間の短縮、多様な生き方の導入
- 保育・介護サービスの充実
- 相談窓口の充実
- 単身赴任者に対する支援
- その他

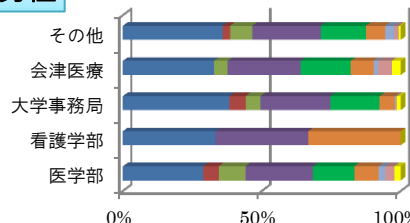
全体



女性



男性



9月・12月女性限定カフェ、10月・11月イングリッシュカフェを開催しました

毎月、交流の場として「FMUカフェ」を開催しております。

9月と12月には、女性教職員を対象とした『女性限定カフェ』を開催しました。参加者の方々は、お互いのライフイベントについて語り合い、とても充実したカフェになりました。



12月女性限定カフェの様子

その中でも、家事代行サービスと食材宅配サービスというのをご紹介いただきました。家事代行サービスは、掃除・洗濯・買い物などの家事を代行してくれ、週1回で月1万円から2万円ぐらいの料金だそうです。中には、この時期大変な大掃除を請負してくれるサービスもあるようです。食材宅配サービスは、1回の献立の食材を配達してくれるサービスもあれば、ネットで欲しい食材を注文し配達してくれるサービスなど様々な方法があるようです。このようなサービスをうまく活用し、空いた時間を有効利用するというお話を伺いました。

10月と11月には、情報交換をしつつ英語力を身に付ける『イングリッシュカフェ』を開催しました。10月は、イギリス・ランカスター大学の方に男女共同参画についてご発表いただきました。11月には、学生のCareer developmentについて本学の看護学部生にご発表いただきました。

中国の武漢大学の留学生の方々も参加いただき、同時に情報交換もできとても有意義なイングリッシュカフェとなりました。



10月イングリッシュカフェの様子



Information

FMU キャリアカフェ

日時●平成29年1月17日（火）
16:30~17:30
場所●1号館1階カンファランス1
テーマ●「男女共同参画 現状と今後を語る①」
各所属の男女共同参画についての現状をお話しいただき、どのようなことが求められているかを参加者で考えます。

FMU キャリアサポート交流会

日時●平成29年1月31日（火）
16:30~18:30
場所●8号館1階 S101
講師●宇川 義一先生
(研究・地域医療担当理事/副学長/
男女共同参画推進本部長)
古戸 順子先生
(看護学部地域・在宅看護部門 講師)

FMU スキルアップセミナー

日時●平成29年2月17日（金）
17:00~18:30
場所●1号館1階カンファランス1
講師●疫学講座教授
大平 哲也先生
内容●交流分析(エゴグラム)を交えつつ笑いによるコミュニケーションスキルについて

福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、仕事と生活の調和を実現することを目指しています。

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

【連絡先】E-mail: gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel: 024-547-1657 / 内線: 2807

HP: <http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>

男女共同参画支援室長 小宮 ひろみ
コーディネーター 氏家 智亜紀